

仙塩広域都市計画道路の変更（多賀城市決定）

1. 都市計画道路中 3・4・136号高崎大代線を3・4・136号高崎中央線に、3・4・139号新田南錦町線を3・4・139号新田高崎線に、3・4・142号留ヶ谷八幡沖線を3・4・142号中央八幡沖線に名称を改め、3・4・136号高崎大代線ほか4路線を次のように変更する。

種別	名 称		位 置			区 域	構 造				備 考
	番号	路線名	起 点	終 点	主 な 経 過 地	延 長	構造 形式	車線 の 数	幅員	地表式の区間 における鉄道 等との交差の 構造	
幹 線 街 路	3・4・136	高崎中央線	多賀城市 高崎二丁目	多賀城市 中央三丁目	多賀城市 中央二丁目	約 1,350m	地表式	2車線	16 m	J R 東日本 仙石線と立 体交差 1 箇 所 幹線街路と 平面交差 4 箇所	<ul style="list-style-type: none"> ・名称の変更 変更前： 高崎大代線 ・終点位置の変更 変更前： 多賀城市丸山二 丁目 ・延長の変更 変更前： L=2,290m ・地表式の区間にお ける鉄道等との交 差の構造の変更 変更前： J R 仙石線と立 体交差 1 箇所 幹線街路と平 面交差 5 箇所
	3・4・139	新田高崎線	多賀城市 新田字下河 原	多賀城市 高崎三丁目	多賀城市 高崎二丁目	約 3,860m	地表式	2車線	20 m	仙台臨海鉄 道と立体交 差 1 箇所 自動車専用 道路 1・3・1 号仙塩幹線 と立体交差 1 箇所 幹線街路と の平面交差 4 箇所	<ul style="list-style-type: none"> ・名称の変更 変更前： 新田南錦町線 ・終点位置の変更 変更前： 塩竈市南錦町 ・延長の変更 変更前： L=5,040m ・地表式の区間にお ける鉄道等との交 差の構造の変更 変更前： 仙塩幹線（自動 車専用道路）と 立体交差 1 箇所 幹線街路と平 面交差 6 箇所
	3・4・141	笠神八幡線	多賀城市 笠神二丁目	多賀城市 栄三丁目	多賀城市 鶴ヶ谷三丁 目	約 3,080m	地表式	2車線	11.5 m	幹線街路と の平面交差 2 箇所	<ul style="list-style-type: none"> ・起点位置の変更 変更前： 多賀城市笠神一 丁目 ・延長の変更 変更前： L=3,600m ・車線の数の決定 ・代表幅員の変更 変更前： W=18m ・地表式の区間にお ける鉄道等との交 差の構造の変更 幹線街路と平 面交差 4 箇所

種別	名 称		位 置			区 域	構 造				備 考
	番号	路線名	起 点	終 点	主 な 経 過 地	延 長	構 造 形 式	車 線 の 数	幅 員	地 表 式 の 区 間 に お け る 鉄 道 等 と の 交 差 の 構 造	
幹 線 街 路	3・4・142	中央八幡沖線	多賀城市 中央二丁目	多賀城市 町前二丁目	多賀城市 八幡二丁目	約 1,590m	地表式	2車線	16 m	J R 東 日 本 仙 石 線 と 立 体 交 差 1 箇 所 幹 線 街 路 と 平 面 交 差 8 箇 所	<ul style="list-style-type: none"> ・名称の変更 変更前： 留ヶ谷八幡沖線 ・起点位置の変更 変更前： 多賀城市留ヶ谷 一丁目 ・延長の変更 変更前： L=2,070m ・地表式の区間にお ける鉄道等との交 差の構造の変更 変更前： J R 仙 石 線 と 立 体 交 差 1 箇 所 幹 線 街 路 と 平 面 交 差 8 箇 所
	3・5・147	史跡連絡線	多賀城市 浮島二丁目	多賀城市 中央二丁目	多賀城市 高崎一丁目	約 1,230m	地表式	2車線	12 m	J R 東 日 本 北 本 線 と 立 体 交 差 1 箇 所 幹 線 街 路 と 平 面 交 差 3 箇 所	<ul style="list-style-type: none"> ・区域の一部変更 新田南錦町線と 留ヶ谷八幡沖線 の都市計画変更 に伴う隅切りの 一部変更 ・車線の数の決定 ・地表式の区間にお ける鉄道等との交 差の構造の変更 変更前： J R 東 北 本 線 と 立 体 交 差 幹 線 街 路 と 平 面 交 差 3 箇 所

「区域および構造は計画図表示のとおり」

2. 都市計画道路中3・4・105号新富町牛生線及び3・4・143号新田岩切駅線を廃止する。

理 由

「第5回仙台都市圏パーソントリップ調査」の結果及び「都市計画道路見直しガイドライン（改定版）宮城県土木部都市計画課（平成30年3月）」に基づき、仙塩広域都市計画区域（東部地区）に位置する本市、塩竈市及び利府町において、地域の特性を重視した将来幹線道路網の機能と役割の調査及び検証を行い、社会経済情勢の変化に適応した道路網の再構築が必要となったことから、都市計画道路を変更するものである。